

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-40℃～ +85℃（注1） 3	保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注2）	
	使用湿度範囲	40%～ 80%（注3）	保存湿度範囲		40%～ 70%（注2）	
	電 圧	AC 250V	UL・CSA	電圧	AC 30V	
	電 流	2A	定格	電流	2A	
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格		QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電氣的性能	接触抵抗	100mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	30mΩ 以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000MΩ 以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機械的性能	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：30mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35→+85 → +5～+35℃ 時間 30 → 10～ 15→ 30 → 10～ 15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	半田耐熱性	【 70-半田付けの場合 】 半田温度 260 ℃、10 秒間で試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで 300 ℃、 2 秒以内の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	—
	半田付け性	半田温度 230℃、 浸漬時間 3秒間の試験する。	半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。		○	—
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。 (注3) 結露のないこと。						
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。						
	△の数	訂正記事	設計		検図	年月日
3	1	DIS-H-008540	MI. SAKIMURA		HK. UMEHARA	14. 02. 26
			承認	KJ. KATAYOSE	05. 01. 05	
			検 図	TY. OMA	05. 01. 05	
			担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 05	
			製 図	IO. DENPOUYA	05. 01. 05	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番		SLC4-162390-07	
HRS	製 品 規 格 表		製品名		DF11-*DP-2DS (52)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL543	3 1/1